

秦野市のごみ処理の現状について

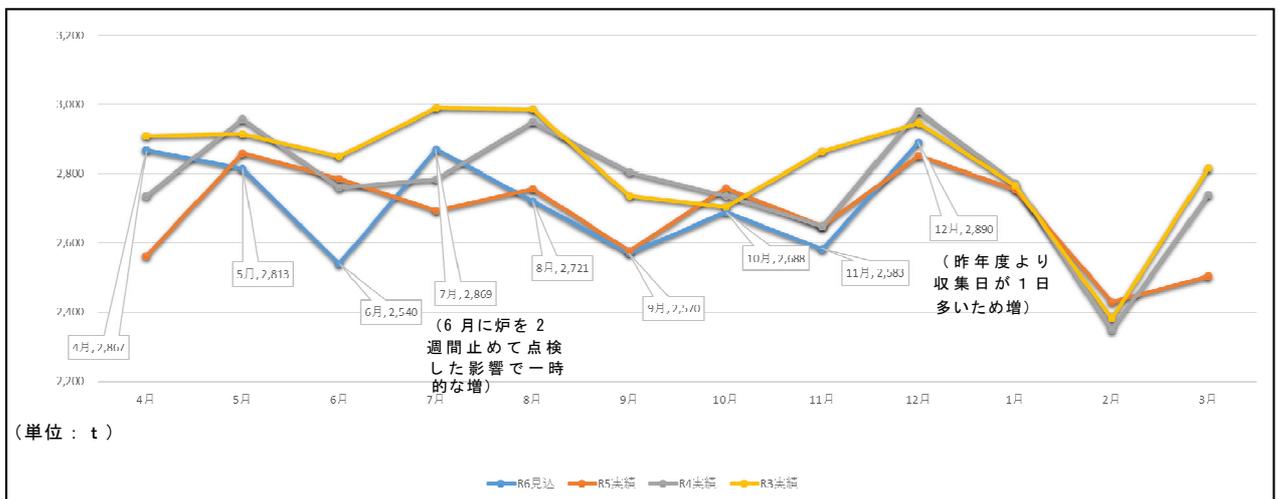
1 ごみ処理の現状（令和6年度は12月までの実績）

(1) 可燃ごみの量（家庭系及び事業系を含む。）

可燃ごみは年々減量傾向を示してきましたが、今年度は昨年度と比較すると微増しています。

なお、可燃ごみに不燃・粗大ごみを破砕した時に発生した可燃性の部分及び栗原最終処分場から排出される汚泥を加えた焼却対象量は、昨年度に本市の目標値(33,600ト)を下回りました。(令和5年度焼却対象量:32,686ト、目標値(33,600ト)との比較:−914ト)

しかし、本年4月から焼却施設がはだのクリーンセンター1施設となったことで、施設の安定稼働のため、引き続き可燃ごみの減量が必要です。



(単位: t)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	小計
R3 実績	2,908	2,915	2,850	2,989	2,986	2,735	2,703	20,086
R4 実績	2,736	2,958	2,759	2,784	2,950	2,804	2,736	19,727
R5 実績	2,561	2,859	2,785	2,692	2,756	2,577	2,758	18,988
R6 実績	2,867	2,813	2,540	2,869	2,721	2,570	2,688	19,068
	11月	12月	1月	2月	3月	実績値	前年比	焼却対象量
R3 実績	2,865	2,946	2,766	2,380	2,816	33,859	—	34,474
R4 実績	2,647	2,980	2,772	2,348	2,739	33,213	98.09%	33,742
R5 実績	2,647	2,851	2,754	2,430	2,503	32,173	96.87%	32,686
R6 見込	2,583	2,890	2,760	2,351	2,509	32,161	99.96%	—

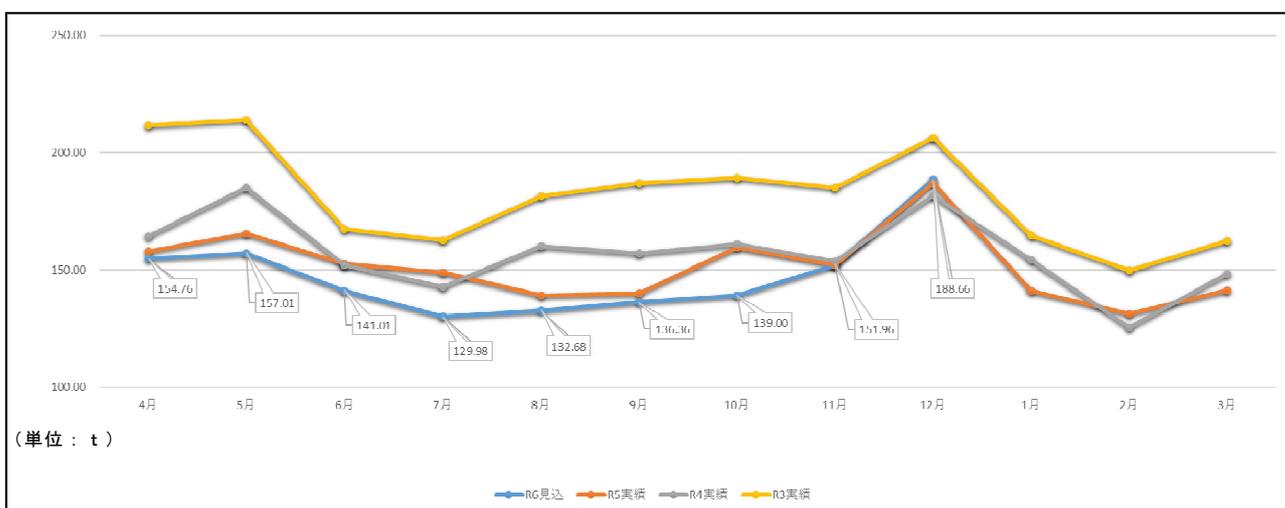
※R7.1月以降は、12月までの実績から算出した前年比に各月の前年の実績をかけて算出。

※2月のみ、うるう年のため、28/29で補正。

(2) 不燃・粗大ごみの量

不燃・粗大ごみ量は、ご家庭から収集場所へ出されたり、伊勢原清掃工場へ持ち込まれた不燃ごみと、環境資源センターに持ち込まれたり、予約収集で個別に収集した粗大ごみを合わせたもので、年々減少傾向にあります。

更なる減量のための取組みとして、公益社団法人シルバー人材センターと協定を締結し、リユース促進事業の「もったいないDay」をシルバー人材センターと共催にし、リユース品を市民により安価で提供できるようにし、かつ、リユース品の買取り業者である(株)ECOMMITとシルバー人材センターが売買契約を取り交わし、もったいないDayで売れ残ったリユース品を買取ってもらうことで、粗大ごみ処分量の減量に取り組んでいます。



(単位：t)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	小計
R3 実績	211.65	213.87	167.39	162.52	181.26	186.99	189.06	1,312.74
R4 実績	164.15	184.89	151.89	142.72	160.13	157.01	160.98	1,121.77
R5 実績	157.83	165.44	152.53	148.78	139.06	139.84	159.62	1063.10
R6 実績	154.76	157.01	141.01	129.98	132.68	136.36	139.00	990.80
	11月	12月	1月	2月	3月	実績値	前年比	
R3 実績	185.06	206.36	164.47	149.66	162.44	2,180.73	-	
R4 実績	153.70	181.59	154.10	125.48	148.43	1,885.07	86.44%	
R5 実績	152.03	187.05	141.03	131.12	141.39	1,815.72	96.32%	
R6 見込	151.96	188.66	133.91	120.21	134.25	1719.80	94.71%	

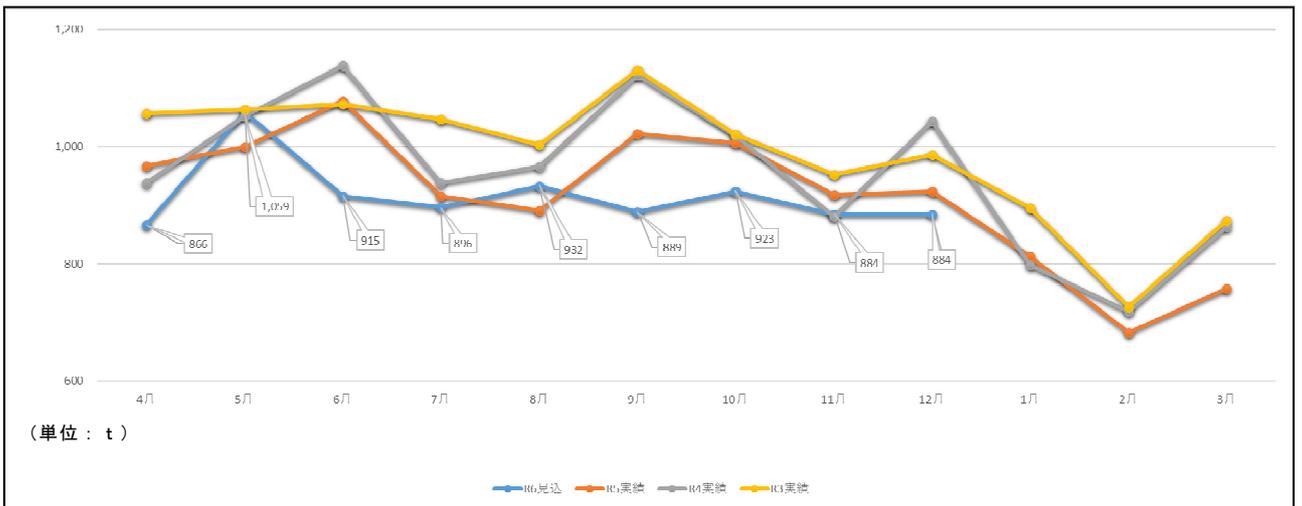
※R7.1月以降は、12月までの実績から算出した前年比に各月の前年の実績をかけて算出。
 ※2月のみ、うるう年のため、28/29で補正。

(3) 資源物の量

資源物は、古紙類、ビン、カン、衣服布類、ペットボトル、容器包装プラスチックや草木類などで、ご家庭から収集場所やストックハウスに出されたり、PTAなどの集団資源回収を合わせたものです。

年々減少傾向にあり、令和6年度も減少となる見込みです。

特にデジタル化の影響もあり、古紙類の減少が顕著です。



(単位: t)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	小計
R3 実績	1,057	1,063	1,072	1,046	1,003	1,130	1,021	7,392
R4 実績	938	1,052	1,138	938	966	1,121	1,018	7,171
R5 実績	967	1,000	1,078	916	891	1,022	1,006	6,880
R6 実績	866	1,059	915	896	932	889	923	6,480
	11月	12月	1月	2月	3月	実績値	前年比	
R3 実績	952	986	895	726	874	11,825	-	
R4 実績	881	1,043	798	718	863	11,474	97.03%	
R5 実績	918	923	812	683	758	10,974	95.64%	
R6 見込	884	884	768	624	717	10,357	94.38%	

※R7.1月以降は、12月までの実績から算出した前年比に各月の前年の実績をかけて算出。

※2月のみ、うるう年のため、28/29で補正。